



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月8日  
東

上場会社名 株式会社 赤阪鐵工所 上場取引所  
コード番号 6022 URL <https://www.akasaka-diesel.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 阪口 勝彦  
問合せ先責任者 (役職名)代表取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 塚本 義之 (TEL)054(685)6081  
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,357	8.9	△351	—	△305	—	△210	—
2023年3月期第3四半期	4,918	△3.1	△3	—	92	△39.4	55	△48.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△158.74	—
2023年3月期第3四半期	41.78	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	13,017	8,331	64.0
2023年3月期	12,701	8,111	63.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 8,331百万円 2023年3月期 8,111百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	13.7	10	△91.1	40	△87.4	30	△88.2	22.65

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期3Q	1,540,000株	2023年3月期	1,540,000株
2024年3月期3Q	215,534株	2023年3月期	215,261株
2024年3月期3Q	1,324,595株	2023年3月期3Q	1,324,510株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は「株式給付信託（BBT）」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
3. その他	6
生産、受注及び販売の状況	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会経済活動の正常化が進む一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化による、エネルギー価格や原材料価格の高騰、円安の長期化、継続的な物価上昇による個人消費停滞の懸念など、依然として先行きが不透明な状況となっております。

海運業界は、IMO（国際海事機関）の新たなGHG削減目標の決定を受け、外航海運ではLNG、メタノール等の代替燃料船が登場し、アンモニア燃料船の建造計画も進められております。一方、内航海運ではバイオ燃料の実船検証運航が活発に行われておりますが、燃料の供給量が限られており、重油からバイオ燃料への全面的な移行は難しいと考えられております。規制対応への方向性が定まらず、船員不足問題等もあり内航海運では多くの老齢船の代替建造が進んでいない状況であります。

造船業界は、2050年に向けて老齢船の代替建造や環境対応船への乗換え等で新造船需要が拡大する見通しが強まっており、外航船は受注量が回復しておりますが、内航船は鋼材・資機材価格等の上昇もあり、外航船に比べ受注量は回復していない状況であります。

当第3四半期累計期間における業績は、売上金額の大きい2サイクル船用内燃機関の売上が増加した結果、売上高5,357百万円（前年同期比8.9%増）となりました。収益面では社内のコストダウンに取り組むも、原材料、購入品に加え各種経費の値上げが大きく、内燃機関の売価に値上げ相当分を転嫁しきれないことから原価率が大幅に悪化しています。その結果、経常損失305百万円（前年同期経常利益92百万円）、四半期純損失210百万円（前年同期四半期純利益55百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は13,017百万円となり、前事業年度末に比べ316百万円増加いたしました。主な要因は、株価上昇による投資有価証券の増加等により固定資産の増加（1,105百万円）等の一方、現金及び預金や仕掛品の減少等による流動資産の減少（788百万円）によるものです。

当第3四半期会計期間末の負債は4,685百万円となり、前事業年度末に比べ96百万円増加いたしました。主な要因は前受金等の流動負債の増加（140百万円）の一方、社債の償還、長期借入金の返済等による固定負債の減少（44百万円）によるものです。

当第3四半期会計期間末の純資産は8,331百万円となり、前事業年度末に比べ220百万円増加いたしました。主な要因は、四半期期末の株価回復によるその他有価証券評価差額金の増加（471百万円）等によるものです。

この結果、当第3四半期会計期間末における自己資本比率は64.0%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月11日に発表いたしました数値から変更はありません。配当予想につきましても、現時点で今後の動向を見通す合理的な算定を行うことは困難であるため、未定とさせていただきます。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,206,494	1,512,671
受取手形及び売掛金	2,146,848	2,071,336
製品	—	83,650
仕掛品	2,535,428	2,427,889
原材料及び貯蔵品	478,391	524,684
その他	68,683	26,767
貸倒引当金	△1,248	△1,179
流動資産合計	7,434,597	6,645,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,370,073	1,296,861
その他（純額）	1,938,661	1,868,605
有形固定資産合計	3,308,734	3,165,466
無形固定資産		
無形固定資産	103,600	97,616
投資その他の資産		
投資有価証券	1,079,770	1,766,462
その他	795,116	1,361,674
貸倒引当金	△20,745	△19,726
投資その他の資産合計	1,854,141	3,108,410
固定資産合計	5,266,475	6,371,493
資産合計	12,701,073	13,017,313

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,518,486	1,520,081
短期借入金	408,929	453,370
未払法人税等	31,136	3,794
賞与引当金	143,800	72,683
製品保証引当金	34,442	33,433
受注損失引当金	32,228	90,092
その他	1,012,736	1,148,929
流動負債合計	3,181,757	3,322,385
固定負債		
社債	80,000	60,000
長期借入金	564,177	476,394
引当金	61,684	71,882
その他	701,872	754,892
固定負債合計	1,407,734	1,363,169
負債合計	4,589,492	4,685,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,000	1,510,000
資本剰余金	926,345	926,345
利益剰余金	5,752,432	5,501,398
自己株式	△435,951	△436,528
株主資本合計	7,752,827	7,501,215
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	358,753	830,543
評価・換算差額等合計	358,753	830,543
純資産合計	8,111,580	8,331,759
負債純資産合計	12,701,073	13,017,313

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	4,918,293	5,357,769
売上原価	3,950,051	4,662,927
売上総利益	968,241	694,841
販売費及び一般管理費	971,759	1,046,098
営業損失(△)	△3,517	△351,256
営業外収益		
受取利息	707	3,170
受取配当金	38,078	46,234
助成金収入	41,611	500
その他	26,141	10,056
営業外収益合計	106,538	59,961
営業外費用		
支払利息	8,405	12,253
その他	2,143	1,557
営業外費用合計	10,549	13,810
経常利益又は経常損失(△)	92,471	△305,106
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,334
特別利益合計	—	1,334
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	92,471	△303,771
法人税等	37,138	△93,503
四半期純利益又は四半期純損失(△)	55,332	△210,268

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## 税金費用の計算

税金費用については、事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

## 3. その他

## 生産、受注及び販売の状況

当社の事業は船用内燃機関及び部分品の設計・製造・修理・販売及びその関連事業を主体とした単一セグメントであります。

## ①生産実績

当第3四半期会計期間の生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比増減率(%)
内燃機関関連事業	5,452,928	10.2

(注) 金額は、販売価格によっております。

## ②受注実績

当第3四半期会計期間の受注実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比増減率(%)	受注残高(千円)	前年同期比増減率(%)
内燃機関関連事業	5,092,718	1.4	1,594,500	△25.8

## ③販売実績

当第3四半期会計期間の販売実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比増減率(%)
内燃機関関連事業	5,357,769	8.9